



表長屋の1階半分が路地、その路地をくぐると裏長屋。空堀に残る、この貴重で風情ある表長屋の一つをリノベーションし、2003年11月にコミュニティスペースを設立した。「おさか たにまち 集いの場 にぎわい堂」と名付けた。

自分の貯金もはいたが、大阪府の支援、採算度外視で普請してくださった一流の大手さん、食器や電球の傘をくださった親切な地元の方々、ステンド

グラスを寄贈してくださった有名ガラス工芸作家の先生など、有形無形のご協力には枚挙に暇がない。

私は、社会人になって約30年、何度かの転職を経て休むことな

たこと、2002年秋に行った「からほりまち歩き」で気軽に集まれるパブリックスペースの必要性を感じたことなどがきっかけと云えばきつかけで、それまで主宰していた人つなぎの場の有形化、大阪人としての誇り、商店街に対する応援の気持ちなどが、神の見えざる手、とか言いようなない奇跡と幸運に見守られ形を成したもので、とても言えば良いだろうか。

以来、からほりを味わう会、なにわいろはかるた展、さんもくサロンなど主宰イベントだけでなく、英語落語の練習会、文学同人誌の編集会議、国際交流団体の懇親会など、小規模ながらも素晴らしい活動をされている方々にご活用頂き、愛着をもって親しまれてきた。海外有名雑誌のロケに使われたこともある。



16年春をもって残念ながら幕引きとなる。長屋全体が更地になり、いずれマンションが建設されるらしい。今となっては、にぎわい堂がなければ会えなかった方々、行けなかった場所を思うとき、ご支援頂いた方々、何より活動を温かく見守ってくださった大家さんには、感謝の念しかない。

「たにまち」は、サポーターの意味。時の流れに形はなくなっても、残る心があり、また何かが始まる。また空堀で、そしてどこかでお会いしましょう。ありがとうございました。

(にぎわい堂 代表 寺西章江)

「にぎわい堂」ひとむかし

からほり新聞

第37号
(2016.3.30)

「空堀界隈を散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

会のお知らせ

当会は寄付が主な活動資金です。
この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

■大阪市立島之内図書館

◆春の子供会▶4月23日(土) 13:30~15:00▶本の読み聞かせ、紙芝居など▶多目的室▶先着順▶問い合わせ:06-6211-3645

■隆祥館書店 ☎06-6768-1023

◆原発楽民▶4月10日(日) 15:00~17:00▶出版記念イベント▶森松さん・日野さんトークイベント

◆おもてなし日和▶4月11日(月) 19:00~▶元リッツカールトン日本支社長 高野登

■中川やすみち展▶薬業年金会館▶4月12日~4月15日▶皆様おいでください。

■桃園会館▶モーニング喫茶▶5月29日9:00~11:00▶参加100円▶パン、サラダなど

お年寄りの皆さんが、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いになる様々な企画を推進しています。

■高齢者外出介助の会 ☎06-6764-4002

◆からほりさろんにぜひお越しください。
月~金10時~17時まで空いています。

◆認知症カフェ「てるてるくらぶ」▶4月9日(土) 13:30~15:00▶定員12名▶場所:からほりさろん▶参加:200円▶申し込み:高齢者外出介助の会

◆もり・から・ふえす▶5月14日(土)▶空堀地域3商店街が主体となり、公募による商店街イベントを開催します。

◆ボラ堀 ボランティア出会う市▶5月15日(日)▶空堀商店街シャッター前でボランティア団体が情報発信します。参加団体募集。

◆みんなで集う春のコンサート▶会場:大阪市立中央会館▶5月7日(土) 13:30~15:00▶定員250人▶参加無料▶北口桂、玉井早苗ほか、マリンパの演奏をお楽しみください。

☆編集後記

◆秋に拾い、春に植える種をいつ植えようか、考えています。(岡田)

◆空き家のストック活用が推進されています。沢山の人々が住んで地域を盛り上げるのは良いですが、防火だけは気をつけてほしいですね。(のぶ)

◆水取りが済んでからの寒さ

で、春が足踏み。なんか天候が極端になってきたような?地球温暖化の一面とか。(山名)

◆服が軽くなって肩も軽くなってきた。春って体も心も軽くなります。春風に乗って外出を楽しみたいです。(ケラ子)

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

TEL&FAX 06-6764-4002

月~金(10:30~15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: odekake-karahori.com

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださるお店も大募集。

「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

あいた時間にお花を… 気軽にはじめませんか?

生け花 未生流

金曜日15:00~20:30、ご都合のよい時間に
1回2,000円(花材代込み)「堺筋本町駅」③出口すぐ上
まずご連絡ください。☎090-9044-9921(北迄)

古典・現代邦楽など、どの分野でもお教えます

生田流 箏・三絃 九州流

講師: 門脇 裕子

◆稽古日: 相談 ◆月謝: 5,000円
◆お問い合わせ: 080-3117-6684



中川さんは生まれも育ちも空堀。長身で大変元気はつらつ、とても気さくな人柄です。多摩美術大学のデザイン科出身で同級生には日本画を専攻していた松任谷由美(ユーミン)が出世頭。大学卒業後に自身の両親が経営していた宝石店の3代目となりました。しかし、28歳の時に、

右半身付随となる原因不明の大病にかかります。当時の医学では解明できず、いろいろな精密検査をしました。原因不明。半年余りでなぜか完治したという不思議な出来事がありました。その病気がきっかけで港南高校造形科の教師となり30歳から美術作品を制作し公募コンクールに応募するように。

中川さんの作品は全てがオリジナル。ベニヤ板で作った土台に布を貼りつけて固定し、彩色していく。「生命」と「細胞」を表現したエネルギー溢れるダイナミックな作品だが、その装飾は細かく、繊細でもある。布の質感が独特の柔らかみとなり、

60カ国1500点以上の作品の登壇すると拍手喝さい。世界

右半身付随となる原因不明の大病にかかります。当時の医学では解明できず、いろいろな精密検査をしました。原因不明。半年余りでなぜか完治したという不思議な出来事がありました。その病気がきっかけで港南高校造形科の教師となり30歳から美術作品を制作し公募コンクールに応募するように。

登壇すると拍手喝さい。世界60カ国1500点以上の作品の

中川さんの作品は全てがオリジナル。ベニヤ板で作った土台に布を貼りつけて固定し、彩色していく。「生命」と「細胞」を表現したエネルギー溢れるダイナミックな作品だが、その装飾は細かく、繊細でもある。布の質感が独特の柔らかみとなり、

今回の空堀人は2015年にイタリアで開催された「フローレンス・スピエンナーレ」で最も名誉ある大賞を受賞された現代アーティスト作家中川泰通さん(62)。桃園小学校、上町中学校で育った方です。

快傑！からほり人 快傑ファイル其の二十九

イタリアフィレンツェで

日本人初の大賞受賞

現代アーティスト 中川泰通さん

オリジナルの彩色による光沢も特徴的です。これまでの30年間で1年1〜5回作品を応募していましたが入選がやっとでした。今回のコンクールに応募するきっかけになったのは7年前の日伊文化交流協会(LAIALC)が主催するワークショップでイタリアのフィレンツェに訪れた時。その時、同協会主宰の佐々木博美さんに2015年のコンクールに挑戦しないかと誘われた。

中から見事、日本人で初めて最も名誉あるゴールドを受賞し、「時代の先を行く」現代アーティストとして世界に認められた中川さん。

〔展示会情報〕

「イタリアフローレンス・スピエンナーレ」コンクール展大賞記念展

●「カフェ・ポーチカ」3月22日〜5月6日

●「薬業年金会館」4月12日〜10時

05023@gmail.com

谷町眼鏡店

中央区谷町7-1-15 ☎06-4980-1905 月、祝休み

上町中学の近くの古い木造に眼鏡店ができたことに気づきました。落ち着いた雰囲気眼鏡店にお邪魔しました。にこやかな神田さんは眼鏡の専門学校を出て大学の眼科に務めていたそうです。特殊な眼鏡も取り扱われる専門店。スマホを見ると目に近づけませんか？ 目は近くを見るのは苦手で片一方は外に向き、極端には一方の目だけ使うこともあるそうです。落ち着きのない子供、学習に問題があるって目に問題があることも多いそうで、日本では眼科と言えば視力検査ですが、アメリカや欧州では視力と両眼での見え方を検査することが基本だそうです。神田さんは、「歯医者さんが予防に力を入れているように、私たちも目が悪くならないよう、予防することを大切にしたいと思います」悪くなる前の予防を心がければ私たちのような眼鏡屋がなくなってもいいと。現在幼稚園の理事もされていて予防に力を入れたいと、若い親に目の話をさせてもらっていると話され、大きな目標をお持ちです。日本人と言えば一時眼鏡とカメラと言われていたのも変えられる時代が来るかもしれませんね。



仏教喫茶

中央区上本町西2-4-20 ☎050-5881-3562 当分は不定休

取材の帰り路「仏教喫茶」立て看板？ 左を見ると写経しませんかと玄関の中に看板。

これは入って聞かないと声を掛けました。出てこられたのが鈴木さん。これは？ と聞くと2月1日から開いたとのこと。上がってもいい？「どうぞ」こんな時は別人です。ずかずかと上がらせてもらいました。メニューはぜんざい、かゆ、お茶などで時間は12時から19時。隣の部屋にワインなどが見えるので聞くとハッピータイム。夕方はワイン、チーズなどを用意されているそうです。

もともとお寺出身ではなく、30代半ばに僧籍を取得されました。仏教に親しんでほしいと思っているだけで勧誘はせず、聞かれたらお答えしますというスタイル。面白いのは戒名をお試しでつけてみる。もちろん遊びみたいなもので使えません。でも仏教にちょっと触れてみる体験にいかがでしょう。仏教とは本来は生きるための知恵。仏陀の教えにすこしでも触れてほしいというのが鈴木久順さんの願いだそうです。



からほい界隈お散歩MAP

皆様のからほり地域の情報をお知らせください!



其の33 ～ろーじのお店～

今日は空堀の路地(ろーじ)にあるお店のご紹介をします。空堀を説明するには、地域のいたるところにある秘密の道・路地(ろーじ)をお出かけしてみませんか。その路地で果敢にお店を出されてきている一風変わったお店にお邪魔して驚きました。こんなところにお店が!と驚きもありました。空堀には昔賑町公設市場で商売をされていたお屋敷さんが元おばあちゃんの家で始めたケーキ屋さん。若い方は路地で始めたお話を始めるチャンレンジャーです。強い想いで商売をされてる方々ばかりで話に聞くと、応援したくなりませんか。皆様が空堀にいられたらぜひお見つけください。どこも思い入れがあります。軒ありおそれ可愛いです。昔懐かしい空間にタイムスリップしたような気分になりますよ。

MAP作成・山本のぶゆき



◀ 《ヘアサロンWeeds》
今までお母さんが美容院をされていましたが今は美容院。
火曜～日祝も開いています。
お問い合わせください。
☎ 06-6761-6769



◀ 《豊田鮮魚店》
お父さんから2代目。
西賑町公設市場を出て20年だそうです。
☎ 06-6763-1089



◀ 《FUKU(フク) シフォンケーキ専門店》
材料にこだわり平飼いの卵など使用。
☎ 06-6762-0156



◀ 《野菜中心(センター) 空堀第一倉庫》
最近引っ越しました。なぜ!ニニで?・・・(店主の希望)
☎ 070-5343-2146



◀ 《みなたぼん》
おいしいコーヒーと食材にこだわった手作りケーキでおもてなし。
☎ 06-6768-1882



◀ 《テルエット・ケイ》
健康に配慮した糖分控えめの焼き菓子。注文でチョコレートケーキなども。
☎ 06-6761-7170



◀ 《英仙会話EDDY'S》
ベルギーの方で空堀住民歴も長いです。
人柄が楽しい会話教室に反映されているようです。
☎ 090-7968-8154

幻だった真田丸が判明

今年のNHK大河ドラマは「真田丸」。さて大阪の出番か、と意気込みましたが、実は真田一族が乗った船の名が真田丸だそう、本当の大坂城の真田丸はズット後になりそうです。でも大阪人にとって嬉しいニュースもあります。大坂の陣から400年の節目に当たる2015年、ずっと所在不明だった大坂城の真田丸の場所が、明らかになったのです。それは中央区の餌差



町、大阪明星学園とその北東の寺院を含む崖の上の台地でした。去年の7月、レーダー探知機が真田丸の南側カラホリを探り当てました。その規模は予想外に広く、巾43m、深さ8mというお城の外堀並みの堀でした。400年間もナゾの儘だった真田丸は大坂城にくっついた半月形の出丸で回りは水堀、との想像図しか無かったのですが、近年になって広島藩主だった浅野家で、

寺院名入りで書き込まれていますが、現在も同じ寺院名で建てられています。建物は再建されたものでしょうが、北端の心眼寺の門脇には「真田幸村出丸城址」との石碑が立っており、敷地の高さは向かいのマンションの三階と、同じ高さ、難攻不落だった真田丸の一端がうかがえます。さてドラマの脚本の三谷幸喜氏は、なるべく史実に忠実でありたいとの意向で、江戸時代以降に付けられた通称「幸村」ではなく、本名の「信繁」で話を進めるそうです。真田家は信濃(長野県)上田出身の小大名、戦国時代を必死に生き抜いた一族でした。自分の領土と家名を守る為には、どの主君につくかの判断が難しく、何度も変わる度に、次男だった信繁は武田、上杉、豊臣、に出され、長い人質生活を送っていました。尤も今とは違い「出仕」預かり人として大切に扱われ、中々でも豊臣秀吉はまだ子供がなかったため、19歳だった信繁が気に入り、我が家と思つて暮らせと声を掛けています。お

日本であつた一枚しかない大坂真田出丸のスケッチ絵が見つかり、その記載の堀の寸法と、探知機の実測とが見事に合致したのです。まさにピックリポンです。その古絵図には6か寺が

レーダーと戦後の航空写真から

失せもの



高齢者外出介助の会
事務局長 永井佳子

ここ1か月に、立て続けに大事なものが姿を消して・・・

最初は、某会社からの請求書。大事に取っていたつもりが支払おうと思つたらないのです。仕方なく納品書で支払いを済ませ連絡を入れました。担当者は心よく応じてくださって、無事に請求書再発行してもらえました。

次はキャッシュカード。何度か落としているので注意して引き出しに仕舞うようにしています。その時はカードをぞんざいに扱って自分でこんな仕舞い方はと頭にひっかかりました。これ以上探すところがないとあきらめかけて、玄関?時々出るとき、落とすよりいいと、カードを置いて出ることに

あるのです。ありません。今日は銀行の通帳。これは今も出てきません。探しながらあの時はと記憶をたどるのですが、バラバラに思い出し、行動に連続性がありません。そして空白の部分はどうしても思い出せないのです。

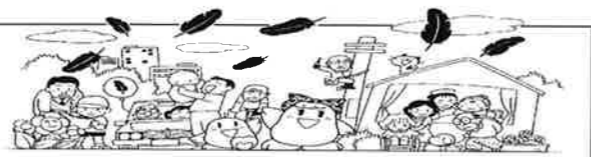
毎日こんな調子で出かけて何度も忘れ物を取りに帰ることが多く、自分にイライラしています。そして、こう繰り返すとどこかであきらめも生まれてきます。これは探し続けるストレスを心が避けるのです。探し続けるより対処方法を考えるようになりました。究極は神様がよきに計らってくださいと考えが落ち着きます。



車椅子から眺めてみれば

街のおじさんから
高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも...でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

注目の最高裁判決がありました。「認知症の91才男性が、介護する85才の妻が目を離した隙に、1人で外出して列車にはねられ死亡した事故を巡り、JR東海が家族に約720万円の損害賠償を求めた裁判」で請求を棄却し、家族は逆転勝訴しました。当然といえば当然の判決で「良かった」と皆んなが思っていると思います。しかしこのケース、事情を汲まずに支払いを命じた名古屋地裁と高裁、あえて裁判による判断を求めたJR東海のやり方には、釈然としないものがありました。老々介護で精一杯の妻、離れて生活していた息子も出きる限りの世話をしていたというのに起こつてしまった悲劇。これに多額の損害賠償を命じるのは非情すぎる、防ぐためには閉じ込めておくしかない!施設に閉じ込めるより在宅で家族に見守られ地域で暮らす方が認知症にも改善が見られると言われる方向性にも反し、どうすれば良いのかと、多くの疑問の声があがっていました。判決は世間の常識に沿った、妥当なものでしたが損害を被った側は泣き寝入りなのか?などへの基準は示されていません。どの家庭も高齢者問題を避けられない昨今、他人事ではありません。(身障者相談員・山名勝)



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしく願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大坂社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧ください。http://www.akaihane-osaka.or.jp

不動産の相続・生前贈与の名義変更はお任せください!!

各種初回相談無料

山田司法書士・土地家屋調査士事務所
司法書士 山田 貴弘
大阪市中央区松屋町7-1-901(グラン・シティオ心斎橋EAST 9F)
地下鉄:長堀鶴見緑地線 松屋町駅④番出口歩1分
☎06-6761-3312
http://www.yamada-legal.jp/